

令和7年3月11日

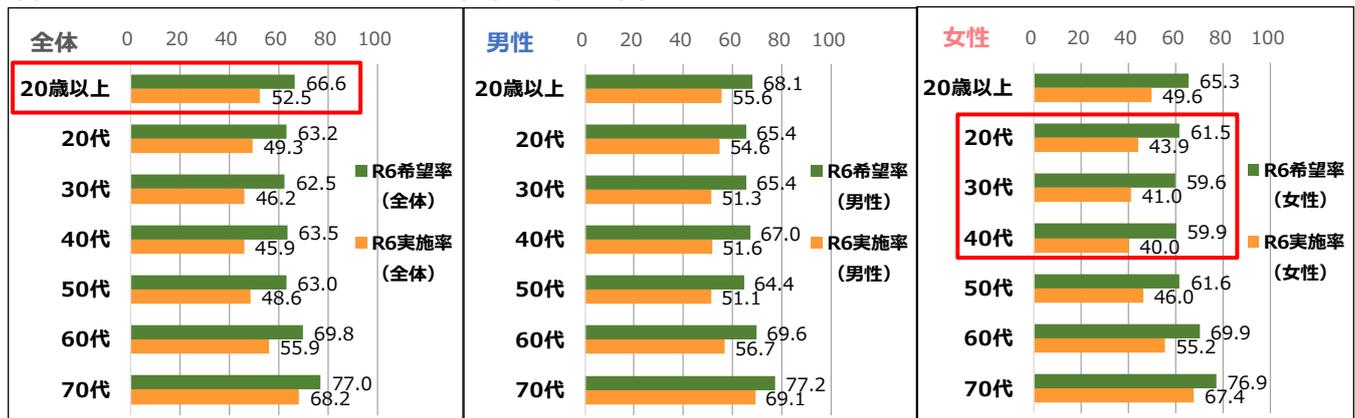
令和6年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」 の結果を公表します

～スポーツ実施の希望と実態に 14.1 ポイントの乖離^{かい}～

このたび、令和6年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を実施し、調査結果の概要を別紙のとおり取りまとめましたので、公表いたします。

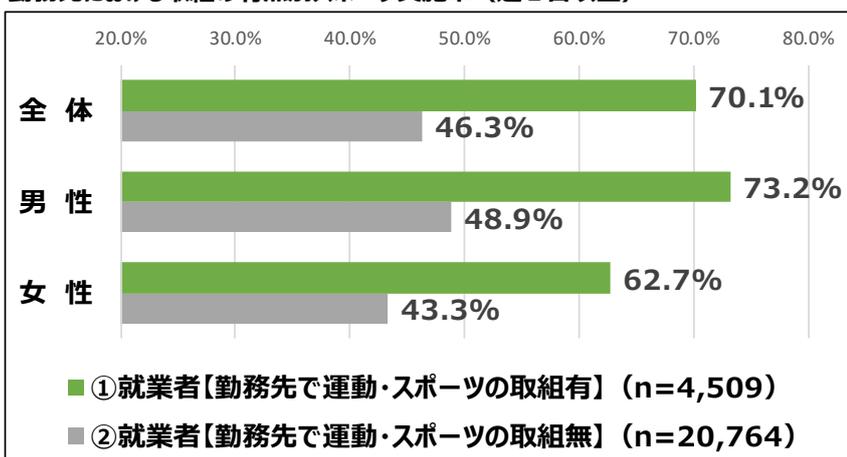
- 20歳以上の週1日以上「運動・スポーツ実施率」（以下「スポーツ実施率」という。）は、52.5%、週1日以上「運動・スポーツを実施したいと思う者の割合」（以下「スポーツ実施希望率」という。）は、66.6%と乖離^{かい}がみられる。
- 特に20代～40代女性でその乖離^{かい}が大きい。

年代別スポーツ実施希望率とスポーツ実施率（全体、男性、女性）



- 就業者については、勤務先で「運動・スポーツを活用した取組」がなされているかどうかで週1日以上「スポーツ実施率」に大きな差があり、取組がなされている場合の実施率は70.1%と高い結果となっている。

勤務先における取組の有無別スポーツ実施率（週1日以上）

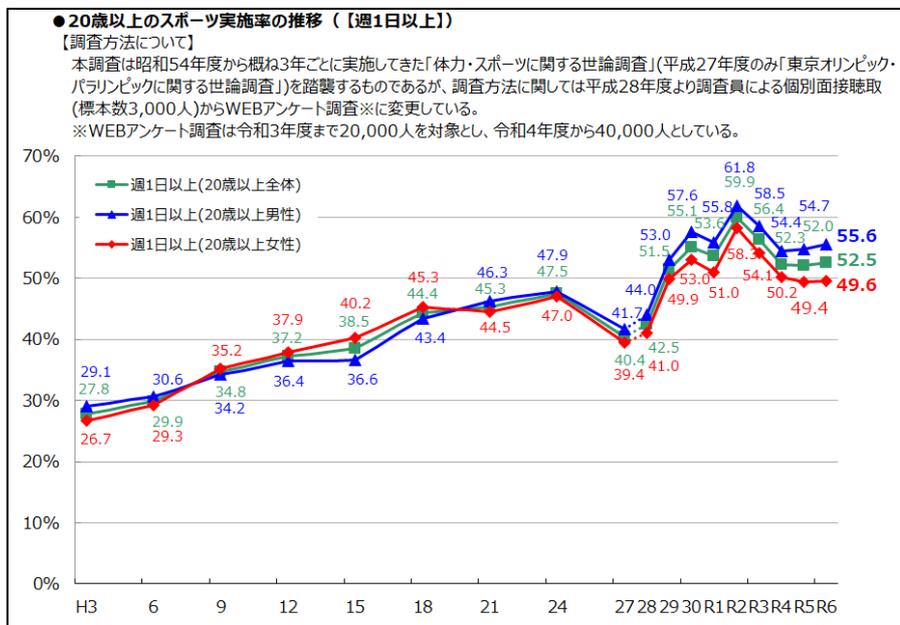
運動・スポーツを活用した取組上位3項目
(n=4,518)

1位	32.8%	クラブ・サークル活動の実施
2位	27.3%	スポーツジムの法人契約・優待利用や実施にかかる費用の補助等
3位	24.9%	運動・スポーツ関係のイベントやプログラムの実施、運動・スポーツを促進させる環境の整備等

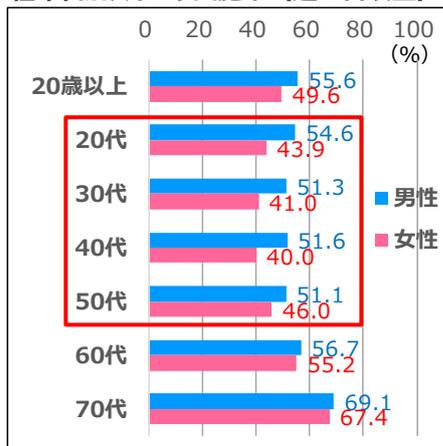
<主なポイント>

(1) 性年代別のスポーツ実施率とスポーツ実施率の推移

- 20歳以上の週1日以上の実施率は、52.5%となり、令和4年以降ほぼ横ばいとなっている。
- 男女別では、男性が55.6%、女性が49.6%となっており、引き続き男性より女性の実施率が低く、かつ男女の差が拡大している。また、年代別では、20代～50代の働く世代で引き続き低い傾向となっている。



性年代別スポーツ実施率（週1日以上）



(2) 運動・スポーツを週1日以上実施したいと思う者の割合（スポーツ実施希望率）

- 20歳以上の週1日以上の実施希望率は、66.6%（男性68.1%、女性65.3%）となっている。
- スポーツ実施希望率と実際の実施率の差を見ると、高い順に40代女性（19.9%）、30代女性（18.6%）、20代女性（17.6%）となっている。

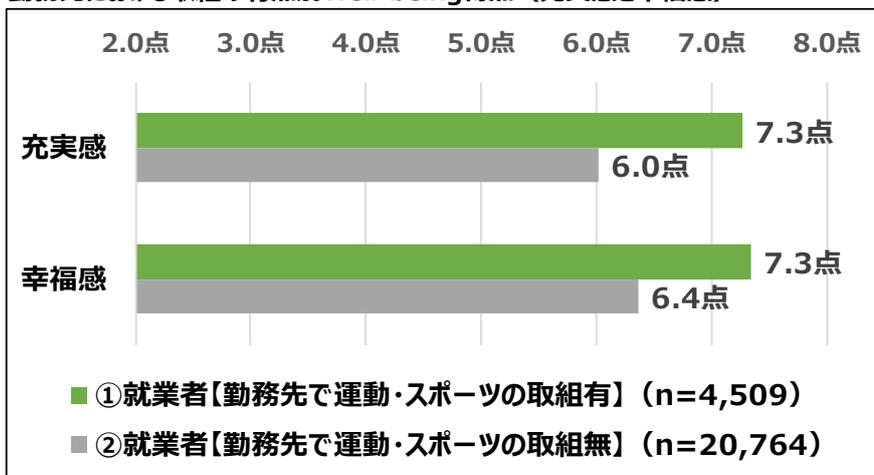
性年代別スポーツ実施希望率

性年代	人数	実施状況 (%)									希望率 (%)		
		1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上	1日以上
全体	39076	16.5	18.7	15.3	16.1	7.0	1.9	1.9	10.6	11.9	66.6	52.5	14.1
男性(20歳以上)	19438	17.9	18.3	15.6	16.4	7.6	2.3	2.1	9.8	10.1	68.1	55.6	12.5
女性(20歳以上)	19591	15.2	19.1	15.1	15.9	6.3	1.6	1.8	11.3	13.6	65.3	49.6	15.7
男性20代	2606	12.3	15.6	18.4	19.1	10.2	3.3	2.2	9.9	8.9	65.4	54.6	10.8
男性30代	2905	13.0	17.6	15.7	19.1	8.8	3.0	2.9	9.9	10.0	65.4	51.3	14.1
男性40代	3756	15.5	16.1	16.4	19.0	8.0	2.6	2.4	9.2	10.9	67.0	51.6	15.4
男性50代	3797	16.1	16.7	14.8	16.8	7.5	2.2	2.3	11.7	11.9	64.4	51.1	13.3
男性60代	3138	21.6	19.0	15.0	14.0	6.8	1.6	1.6	10.4	10.0	69.6	56.7	12.9
男性70代	3236	28.0	24.8	13.8	10.6	4.9	1.1	1.1	7.7	8.3	77.2	69.1	8.1
女性20代	2498	8.8	15.5	16.4	20.8	9.1	3.1	2.8	10.9	12.5	61.5	43.9	17.6
女性30代	2778	9.8	15.6	14.6	19.6	9.1	2.2	2.6	12.8	13.8	59.6	41.0	18.6
女性40代	3611	11.9	15.4	14.5	18.1	8.0	1.8	2.4	12.5	15.4	59.9	40.0	19.9
女性50代	3711	14.0	18.9	13.3	15.4	5.7	1.7	1.8	12.7	16.4	61.6	46.0	15.6
女性60代	3231	18.2	21.9	16.0	13.8	4.3	1.1	0.8	10.4	13.4	69.9	55.2	14.7
女性70代	3762	25.0	25.6	16.3	10.0	3.2	0.5	0.5	8.8	10.1	76.9	67.4	9.5

(3) 勤務先での運動・スポーツ実施環境と Well-being

- 勤務先で運動・スポーツを活用した取組がなされている者の充実感と幸福度は7.3点（10点満点）となり、取組がなされていない者の得点を上回っている。

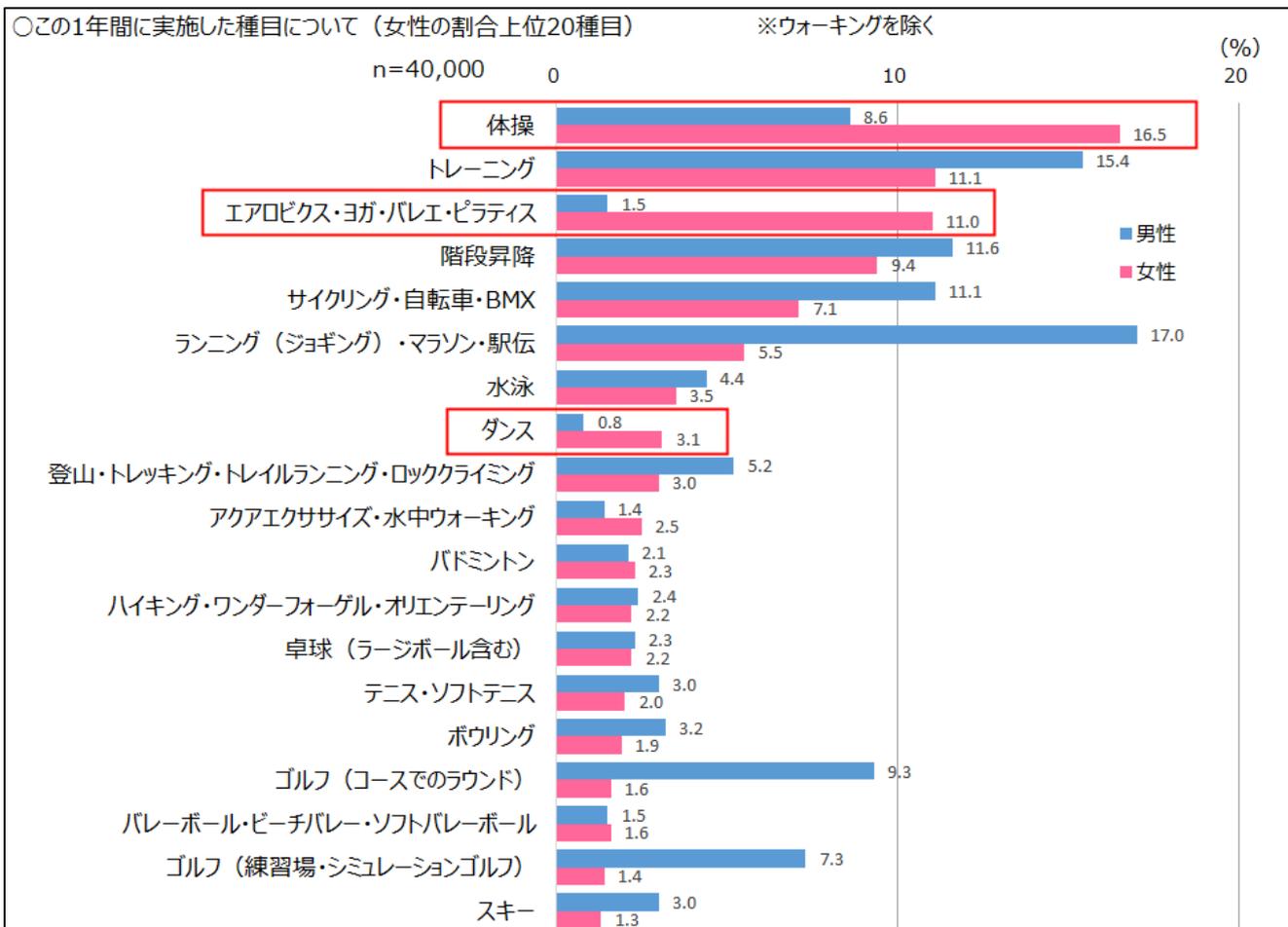
勤務先における取組の有無別Well-being得点（充実感と幸福度）



<その他のポイント>

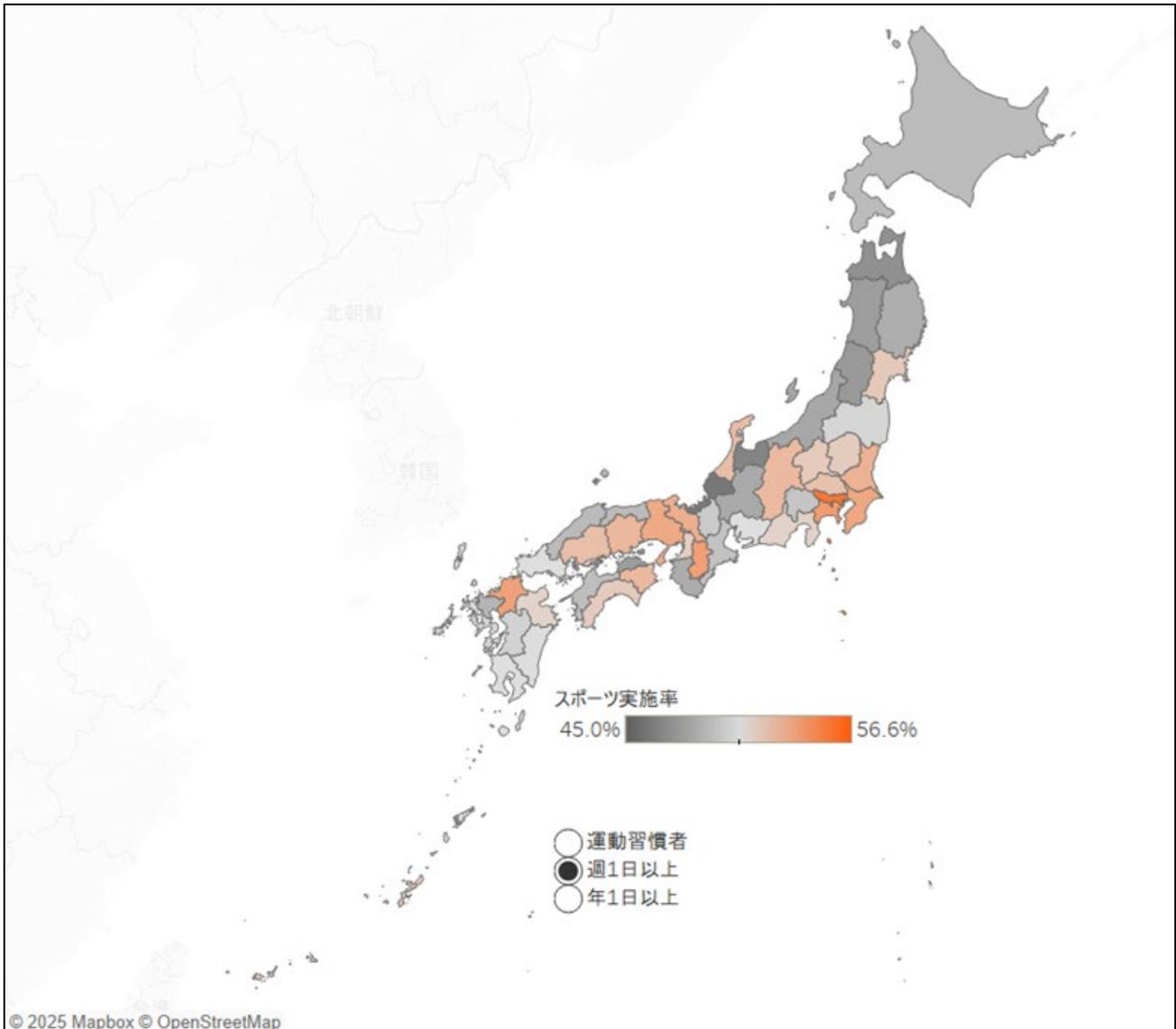
(1) 女性のスポーツ実施の特徴

- 女性の「この1年間に実施した種目」で多かったのは、一番多いウォーキングを除くと「体操（16.5%）」「トレーニング（11.1%）」「エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス（11.0%）」の順となっている。
- 男性に比べて女性の実施割合が高い種目は「体操」「エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」「ダンス」となっている。



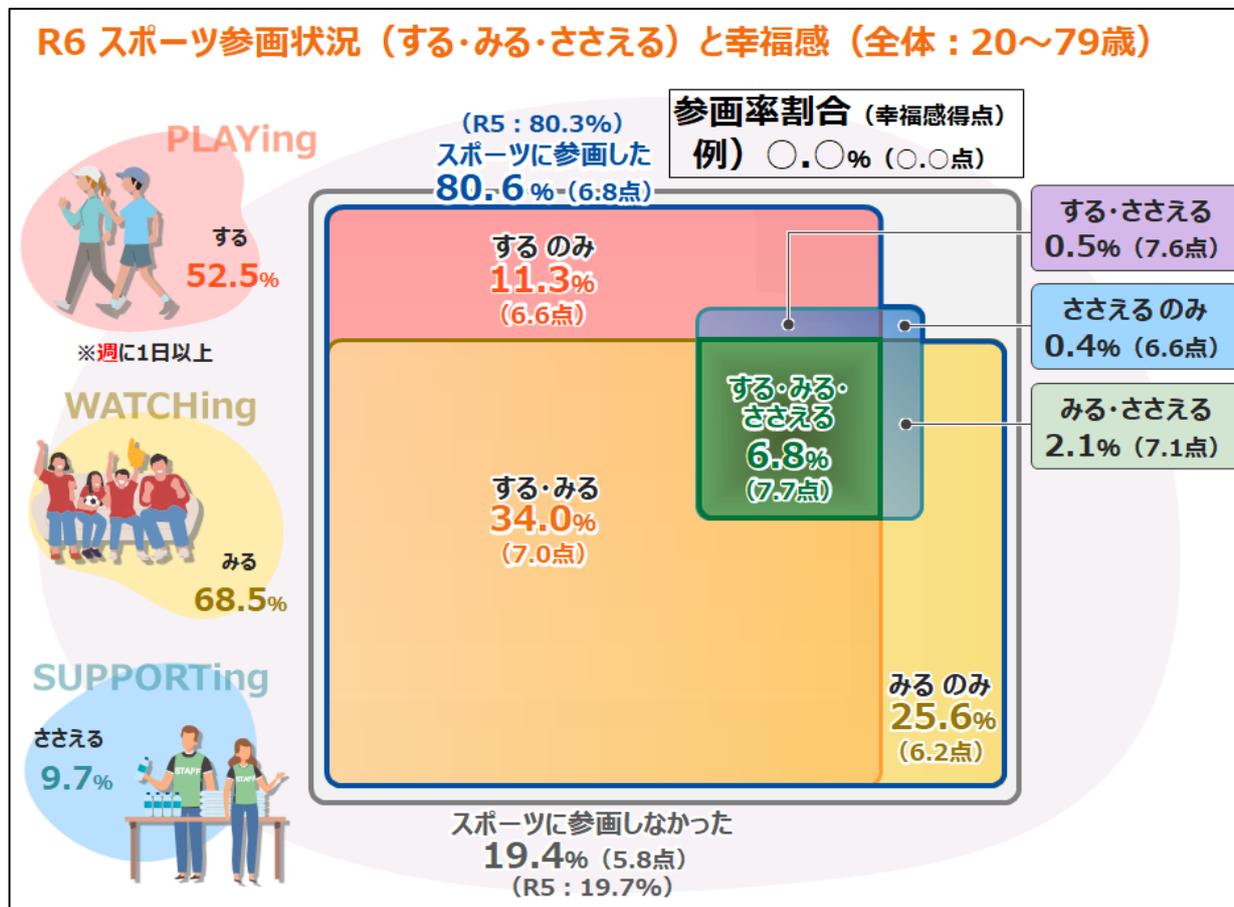
(2) 都道府県別のスポーツ実施状況

- 令和4年度から令和6年度までの3年分を合わせた20歳以上の週1日以上のスポーツ実施率を都道府県別に算出した。
- 都道府県別のスポーツ実施率は、高い方から東京都(56.6%)、神奈川県(54.7%)、奈良県(54.5%)、福岡県(54.3%)、千葉県(54.1%)であった。



(3) スポーツ参画状況（する・みる・ささえる）と幸福感

- この1年間でスポーツを「する」「みる」「ささえる」のいずれかに参画した者の割合は80.7%（男性85.0%、女性76.3%）。
- スポーツへの参画の仕方によって幸福感に差があり、複合的な参画ほど幸福感が高まる傾向がみられ、「する・みる・ささえる」すべてに参画した者は、日常生活の幸福感（7.7点/10点満点）が最も高い。



※「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週1日以上と回答した者の割合
 ※「みる」の割合は、「直接現地で」または「テレビやインターネットで」のいずれかを観戦した者の割合
 ※「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

<今後の対応について>

引き続き働く世代のスポーツ実施率が低い結果となっていますが、職場における取組の有無がスポーツ実施に大きく関係していることが今回の調査から分かりました。このため、スポーツ庁としては、企業等に従業員に対する運動・スポーツの取組を促す Sport in Life コンソーシアムへの加盟促進やスポーツエールカンパニー認定取得を推進するなどにより、国民の運動・スポーツ実施を積極的に支援してまいります。

【Sport in Life プロジェクト HP】 <https://sportinlife.go.jp/>

- ※ 本調査結果の詳細は、スポーツ庁 HP（以下の URL）にて掲載いたします。
- ※ オープンデータの推進として、本調査のローデータ（Excel）も公表しております。
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1402342.htm

令和7年3月11日

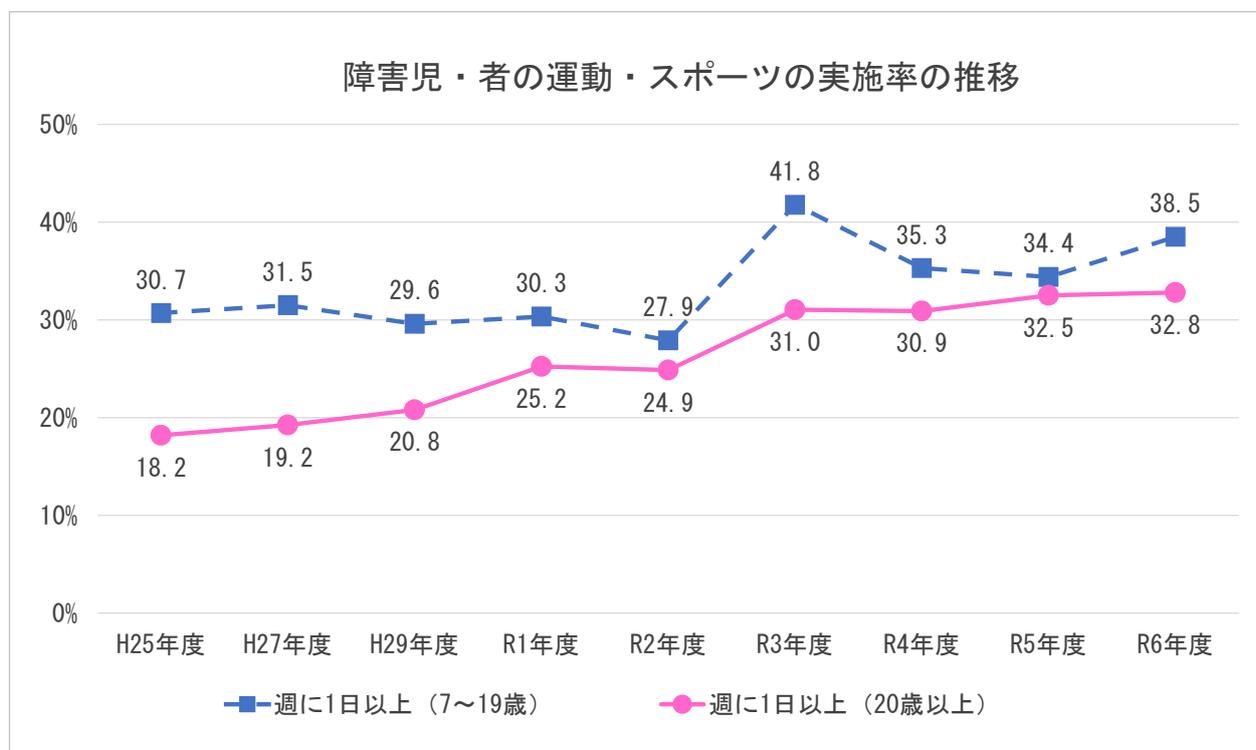
令和6年度「障害児・者のスポーツライフに関する調査」 の結果を公表します

～障害者の週1日以上の実施率は20歳以上で32.8%、7～19歳で38.5%～

このたび、令和6年度「障害児・者のスポーツライフに関する調査」の調査結果概要を取りまとめましたので、公表します。

1. 障害者の運動・スポーツの実施率について

- 過去1年間に運動・スポーツを行った日数についての調査結果より、実施頻度が週1日以上の実施者の割合について、20歳以上と7～19歳に分けて集計した。その結果、20歳以上では32.8%、7～19歳では38.5%であった。令和5年度と比較すると、週1日以上の実施率は、20歳以上は横ばい、7～19歳は増加となった。

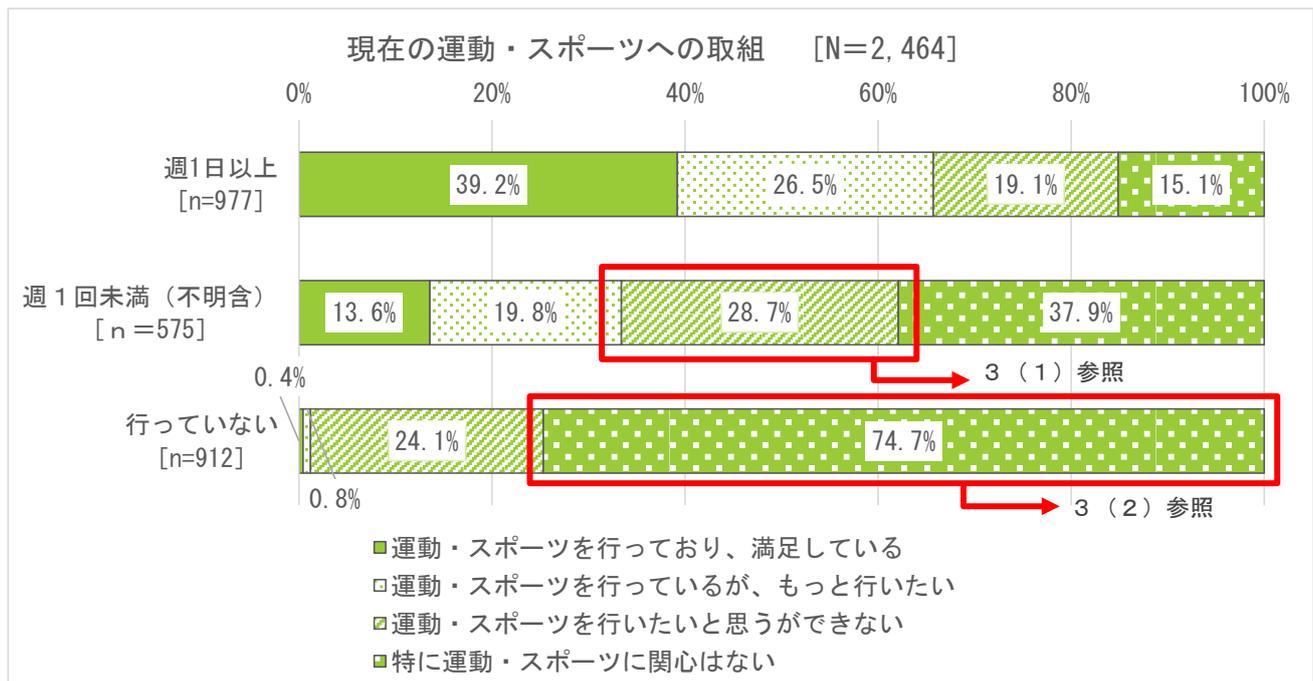


2. 運動・スポーツに対する関心

○ 過去1年間の運動・スポーツへの取組について実施頻度別にみると、週1日以上の実施者では「満足している」が39.2%と最も多く、次いで「もっと行いたい」が26.5%であった。

週1日未満の実施者で最も多かったのは「関心はない」が37.9%、次いで「行いたいと思うができない」が28.7%であった。

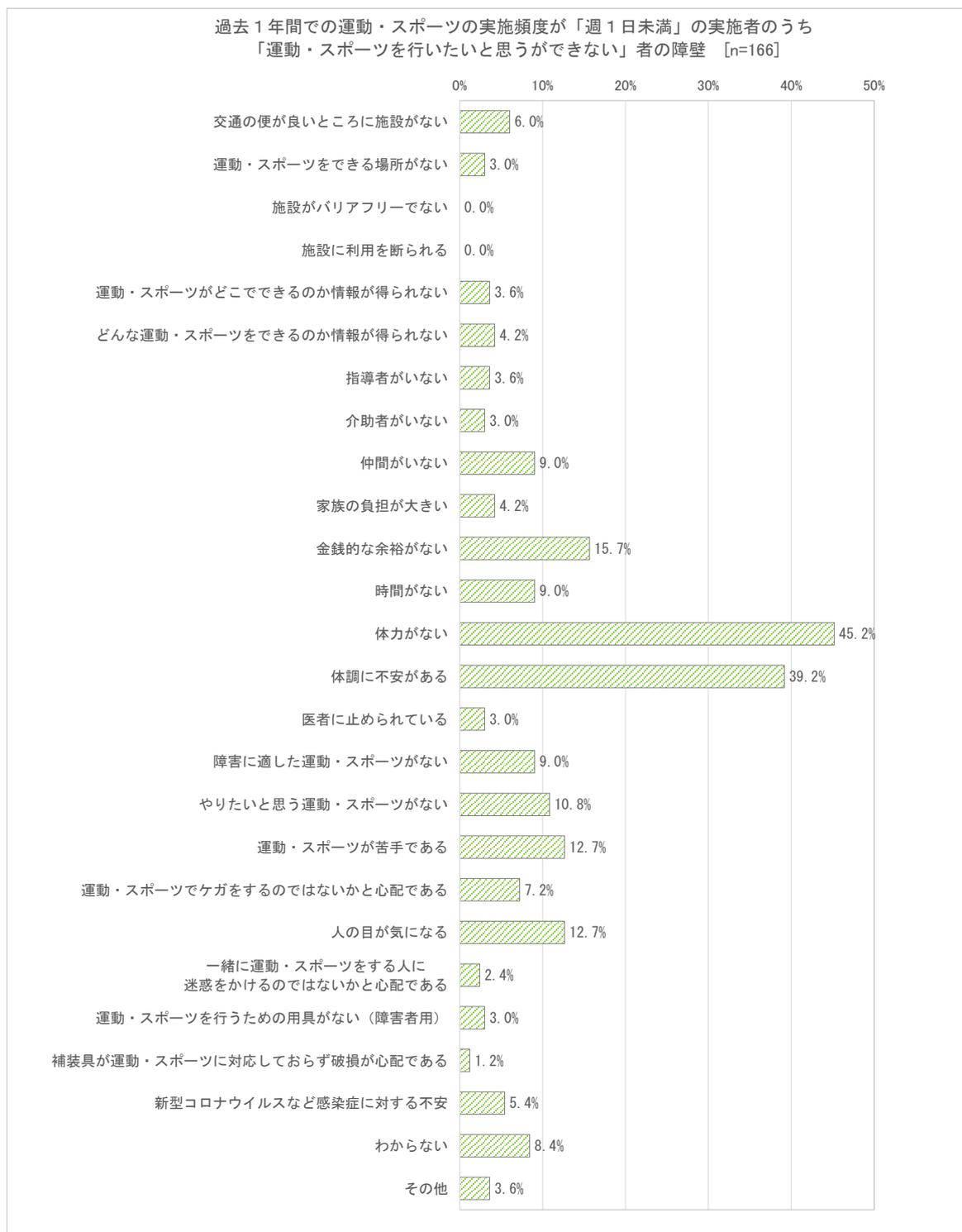
1年間に1日も運動・スポーツを行っていない者では「関心はない」が74.7%と最も多く、次いで「行いたいと思うができない」が24.1%であった。



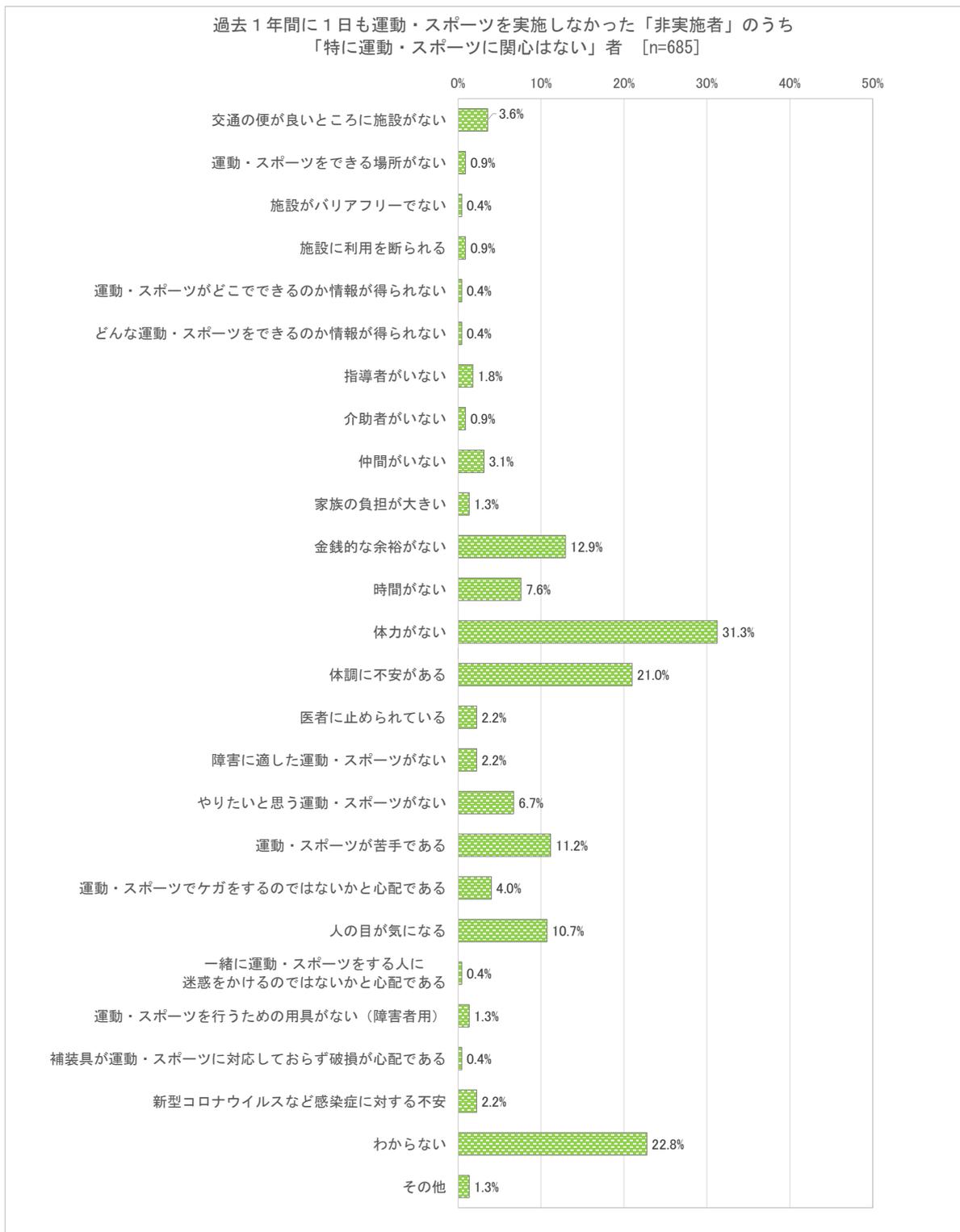
3. 運動・スポーツの実施の障壁

○ 本調査において「障害のあるあなたご自身の運動・スポーツの取り組みについて障壁となっているものは何ですか」という質問も行っている。この回答状況を、スポーツ実施の頻度や運動・スポーツへの関心により2つの層について確認したところ、以下のとおりであった。

(1) 過去1年間での運動・スポーツの実施頻度が「週1日未満」の実施者のうち「運動・スポーツを行いたいと思うができない」者の障壁



(2) 過去1年間に1日も運動・スポーツを実施しなかった「非実施者」のうち「特に運動・スポーツに関心はない」者の障壁



本調査結果の詳細については、下記の URL に掲載いたします。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1402342_00002.htm